

うた

浦添市立港川中学校 二年
相良 萌子

君はうたを、歌うだろう。
それはどんな、歌なのかい？
テレビの中から聞こえてくる、
誰もが知っているあの歌かい？
それとも、この前音楽の、
授業で習ったあの歌かい？
映画の中のあの歌かい？
ドラマで流れたあの歌かい？
幼い頃に、母が歌った、優しい声のメロディーかい？
私もうたを、歌いたいんだ。
だから教えて欲しいんだ。

君はうたを、歌うだろう。
それは何を歌った歌かい？
悲しい恋かい？友情かい？
それとも愛かい？家族かい？
私もうたを、歌いたいんだ。
だけど、今日は、わからないんだ。
ちつとも、全く、わからないんだ。
だから、教えてほしいんだ。

この美しい大空が、
轟音とどろくあの時に、
この美しい大海が、
真っ赤に染まったあの時に、
湿気と悪臭、空腹、恐怖、子どもの泣き声、
叫び声、人を射す音、殺す音。
あの状況で人々は、
何をうたえたいのだろうか？
何を想えばいいのだろうか？

歌いたかった、はずなんだ。
想いたかった、はずなんだ。
みんなちつとも悪くない。
ただ生きたかった、だけなんだ。
太陽に、照らされたかったはずなんだ。
夜空を、見上げたかったはずなんだ。
家族を、感じたかったはずなんだ。
友情も、大事にしたかったはずなんだ。
恋だって、勉強だって、
いっぱいしたかったはずなんだ。
みんな大事で生きてくて、

笑顔で過ごしたかったんだ。

私と同じ気持ちじゃないか！
全く同じ、心じゃないか！
同じ地球の同じ土地
生まれた時期が、ちがうだけ。

どうしてうたを奪ったの？
どうして家族を奪ったの？
どうして恋も友情も、命も夜空も太陽も、
どうして、どうして奪ったの？

時を超えて、私は願う。
みんなのうたが、響くように。
歌いたかった、あのうたが。
歩みたかった、あの人生が。
同じように、歌えるように。
同じように、歩めるように。

歌おうよ！みんなで歌おう！
肩を組んで、口をあけて、
時代を超えて、一緒に歌おう。
私も一緒に、歌うから。
大きな声で、歌うから。
七十年目の、大合唱だ。
教えてくれて、ありがとう！
そばにいてくれて、ありがとう！

今わかったよ。今日の今。
歌わなければいけない歌が。
私の島の、礎が、
私の島の、魂が、
七十年の力となつて、
七十年の時を超え、
大合唱が、響くんだ。

私も一緒に、歌っていくよ。
時代を超えて、歌っていくよ。
戦争しない、愛のうたを。
命を揺らす、心のうたを。
声にならない、大きな声で。
私はしっかり、歌っていくよ。